



日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

98.11.2 No. 4871

崩壊する列車運行能力・異常時対応能力

まともに列車を走らせられない!

台風5号に関連した9月16日の列車運行の大混乱は、明らかに人災である。この日、輸送混乱が本格的に拡大したのは台風が通過してしまっただけであった。列車の運用、乗務員手配の失敗、指令ミスが重なり、輸送混乱は翌日にまで持ちこした。会社は、倒木等が多く発生したことを理由にあげているが、それらの処理が終わって一斉に走りだそうとした途端、管内の多くの線区が全くストップしてしまい、太陽が燦々と照っている状況のなかで「台風5号の影響によりダイヤが乱れています……」という旅客放送が延々と繰り返されたのが実情である。

《今何が必要なのか、全く判断ができない》

支社も現場も、列車を動かすために何が必要なのか、今何をしなければならないのかの判断が全くできなくなっている。列車を運行するという基本的な能力が失われてしまっているのだ。まさに技術力の崩壊状態だ。わずかのタクシー代をケチったために乗務員の確保ができずに列車を止めてしまうというような判断が平然と行われている。こんな状態で、安全が確保されることなどあり得ない。これもJR総連・革マルとの結託体制が招いた結果だ。

動労千葉は、こうした事態に対し、JR東日本/貨物に対し、別掲のとおり申し入れを行っている。

貨物関東支社に対する申し入れ

● 9月16日深夜、貨物列車が千葉駅構内に入線したところ軌電停止が行なわれていたという事態が発生した。これは一歩間違えば、重大な事故に直結すると考えられる。

この間このように、貨物列車の運行について旅客会社の指令が把握していないという事例が多々発生しているが、貨物会社としてその原因と対策を明らかにすること。

● 9月16日深夜、金町駅構内において抑止中の列車の運転士にたいして、駅係員より「起電停止を行なうので、留置手配をしてほしい」旨の要請がおこなわれた。そのため軌電後早朝に運転士による臨時のブレーキ試験を行なうという事態が発生した。これは明らかに会社間並びに系統間の連絡の不徹底によるものと考えられるが、会社としての見解と対策を明らかにすること。

またブレーキ試験が施行できない時はどうするのか明らかにすること。

● 9月16日第109列車が新小岩操定発後佐倉駅にて15時間抑止される事態が発生した。この列車は、旅客列車が運転を終了するまで同駅で抑止された。

貨物列車と旅客列車の優先順位を明らかにするとともに、具体的対策を明らかにすること。

東日本千葉支社に対する申し入れ

● 9月16日に発生した輸送混乱の重大性に鑑み、その原因、運転状況、最大遅延時分等について、各線区毎に、時系列にそって具体的に明らかにすること。

● 台風通過後の運転規制解除後に、倒木等による遅延増大という事態が多数箇所が発生しているが、各線区の状況をどのように把握し、どのような手順で規制を解除したのか具体的に明らかにすること。

また、自然災害による運転規制の解除のあり方について、千葉支社の見解を明らかにすること。

● 台風通過後の輸送混乱の拡大については、指令員の技術力低下及びミスによる要素が極めて大きいと考えるが、千葉支社の考え方を明らかにするとともに、このような事態が幾度となく繰り返されている状況に踏まえ、今後の対策を具体的に明らかにすること。

● 今回の輸送混乱では、各所で運転士等への指令・指示が大混乱をきたすという事態が発生しているが、輸送混乱時における運転士等に対する指令・指示のあり方について、千葉支社の考え方を明らかにするとともに、抜本的な改善をはかること。

● 今回の輸送混乱にあたって、数箇所の運転関係区で、出勤に関して明確な指示がなされなかったため運転士の確保ができず、輸送混乱を拡大させるという事態が発生したが、異常時における運転士等の出勤について千葉支社の考え方を明らかにすること。

また、輸送混乱時には、列車の正常な運行確保や運転士等の交替・送り込みを最優先する立場から、タクシーの使用を含め適切な対応を行なうこと。

● 今次輸送混乱では、運転士等の交替手配が行なわれずに体力の限界をはるかに超えた長時間拘束や睡眠時間無しの乗務が強制されたケースが多数発生しているが、輸送混乱時の運転士等の交替・送り込みについて、千葉支社の考え方を明らかにすること。

また、運転士等の交替・送り込みについて、一定の基準を設定すること。

● 9月16日夜半、貨物列車が千葉駅構内に入線したところ起電が停止されるという事態が発生した。なぜこのような事が発生したのかその原因を具体的に明らかにされたい。

また、この間、指令が貨物列車の運行を把握していなかったことによる事故が多発しているが、貨物列車の運行把握及び貨物列車に対する指令のあり方を抜本的に改善すること。

● 輸送混乱防止のために、ワンユニット運転、千葉運転区の内・外房線の「込み運用」を中止すること。

千葉支社との交渉は本日(2日)、貨物関東支社との交渉は9日に行われる。経営姿勢の抜本的な改善をかちとろう。